

「健康Action2025」の取り組み実績（2022年度）

■ 活動実績

こころとからだの健康

● 目指す姿

「こころ」と「からだ」の自律的健康管理を促進し、社員一人ひとりの「働くこと」と「健康」の調和を実現する。

意識の変容・行動変容に関する指標		目標（2025）	2022	2021
ストレスマネジメント	ストレスによる心身の変化に気づくことができる人の割合	前年度より増加	—	—
	ストレスの要因を把握できている人の割合	前年度より増加	—	—
	ストレスを緩和する方法を実行できている人の割合	前年度より増加	—	—
	困りごとを自ら相談できる人の割合	前年度より増加	—	—
健康的な生活習慣行動 9 項目のうち 6 項目以上ある人の割合		50%以上	42.8%	41.4%
体格	適正体重*1維持者の割合	60%以上	62.5%	62.1%
	前年度、過体重*2・肥満者*3の内 3%以上体重減少した人の割合	22%以上	19.2%	20.2%
受診率	定期健診結果要医療者の受診率	90%以上	83.8%	—
	がん検診の要精密検査者の受診率	90%以上	67.0%	—
柔軟性・筋力の低下（ロコモ）が予防できている人の割合		33.2%より増加	33.2%	—

*1 適正体重: BMI18.5~24.9 *2 過体重: BMI24.9~29.9 *3 肥満: BMI30~

□ 上記目標が達成することで、将来的に期待される項目および目標値ではないが経過を追っていく必要のある項目を健康状態の変化として経年的に確認をしていく。

健康状態の変化	2022	2021
メボリックシンドローム該当者/予備群の割合	22.1%	22.8%
血圧有所見者の割合	9.8%	10.7%
脂質有所見者の割合	30.9%	32.1%
糖代謝有所見者の割合	8.8%	8.9%
高ストレス者の割合	9.2%	9.1%
腰痛がある人の割合	21.8%	22.6%
転倒災害件数	3件	7件

活動内容	活動の実施度合
情報発信・啓発活動	実施率100% 全体への周知回数6回
ヘルスリテラシー教育（セルフケア・ロコモティブシンドローム）	e-ラーニング受講率 セルフケア94% ロコモ88%
ヘルスケア教育・年代別研修の実施	開催回数25回 参加率72.2%
生活習慣や体重に着目した保健指導	実施率 生活習慣90% 体重100%
要医療者への受診勧奨	定期健康診断結果要医療者への受診勧奨88.8% がん検診要精密検査者への受診勧奨95%
卒煙支援	実施率85%
健康づくり活動 全社ウォーキングイベント	春の参加率28.3% 秋の参加率30.4%
健康づくり活動 各事業所課題に応じた活動	実施率100% 活動回数99回
体の変化に気づく機会の提供	実施率85% 活動回数69回

職場の健康

- 目指す姿
働くこと・働く環境により、健康を害することがないように必要十分な安全配慮を行う。
チームとしていきいきと働くことができる職場風土を醸成する。

意識の変容・行動変容に関する指標		目標(2025)	2022	2021
1か月以上のメンタル不調による休務者割合		0.80%以下	0.97%	1.06%
長時間労働者健診対象者による健康障害		0件	1件	0件
職場・事業所内での集団感染		0件	2件	1件
組織風土	高リスク職場数	0職場	7職場	12職場
	高リスク職場継続・再発職場数	0職場	4職場	5職場
	ワークエンゲージメント	2.52以上	2.49	2.42

活動内容	活動の実施度合
ラインケア教育の実施	開催回数9回 参加率98.6%
定期健康診断時の看護職による全員面談の実施	実施率100%
メンタル不調による休務復帰時の振り返り支援の実施	実施率100%
リスクの高い職場への改善支援	実施率100%
支援を求めている職場への支援	実施率100%
長時間労働者健診の実施	実施率100%
COVID19の対応	国の指針に基づき随時対応

■ 一年次の結果総括

- ◎ 計画に沿って策定した活動を計画通り実施した。
- ◎ 一年次（2022年度）の結果、今後も現目標に沿った各種活動の展開を継続していく。
 - ・改善している項目については、KGI達成に向けて活動を継続していく。
 - ・一部、改善が認められなかった項目および目標値と実績が乖離している項目があるため、取組みの強化をしていく。